

校長	教頭	教員	事務	事務	事務	事務	事務
分類	大	中	小	保	存	水・20・10	事務
	()	()	()	年	限	5・3・1	



日教弘宮崎発 4 号
令和 8 年 4 月 2 日

高等学校等学校長 様

公益財団法人日本教育公務員弘済会宮崎支部
支部長 齊藤 正利
(公印省略)

給付奨学生の推薦について (お願い)

時下 貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は、全国における学校教育の振興の一環として、家庭の事情等により学費支弁困難と認められる高等学校等の生徒を対象に給付奨学事業を行っています。

当支部では、令和 8 年度奨学生の募集を別紙募集要項により行いますので、ご推薦方よろしくお願い申し上げます。本年度は、県内の高等学校等**各校 2 名以内**の奨学生採用を予定しておりますので、貴校より奨学生候補者を 2 名まで支部あてにご推薦ください。但し、分校及び定時制 (昼間・夜間)、通信制の課程を有する学校については、それぞれの課程等から 2 名を推薦することも可とします。4 名を超える推薦の場合は、推薦した全ての課程の生徒を合わせて優先順位をつけてください。

推薦の締切は令和 8 年 7 月 17 日 (金)といたします。

募集要項・申請書等は、当支部ホームページ「宮崎教弘」にも様式が掲載してありますので必要に応じてご活用願います。

添付：令和 8 年度高等学校等給付奨学生募集要項
給付奨学生申請書
高等学校等給付奨学生推薦書
高等学校等給付奨学生推薦書を記入するに当たっての留意点
金融機関口座振込依頼書

令和8年度 高等学校等給付奨学生募集要項

1 推薦（応募）資格

本年度、宮崎県内の高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部・高等専門学校（1～3年）・専修学校高等課程に在籍する生徒とする。

2 推薦（応募）条件

家庭の事情により学費支弁困難と認められ、向学心に富み、かつ学業に耐える者で、学校長の推薦をうけた生徒。

3 募集人数

各校 2名以内

但し、分校及び定時制（昼間・夜間）、通信制の課程を有する学校については、それぞれの課程等から2名を推薦することも可とする。4名を超える推薦の場合は、推薦した全ての課程の生徒を合わせて優先順位を付けること。

4 給付金額

奨学生一人に対し 5万円を給付する。

5 交付

給付金は、給付奨学生が指定した本人名義の口座への振込とする。ただし、本人名義の口座がない場合は、親権者のもつ口座への振込も可とする。

6 申込（申請、応募）期限

令和8年4月1日（水）～7月17日（金）

7 提出書類

(1) 奨学生申請書

(2) 校長の推薦書 各1通

(3) 金融機関口座振込依頼書

(4) 指定口座の通帳の表面及び見開きの写し

※ 書類の作成に当たっては、別紙「高等学校等給付奨学生推薦書を記入するに当たっての留意点」を踏まえること。

8 書類提出先

〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3158-1

公益財団法人 日本教育公務員弘済会宮崎支部

TEL (0985) 78-0055

9 奨学生の採用決定等

選考委員会の選考を経て、日本教育公務員弘済会宮崎支部支部長が決定する。その結果については、在籍する校長を通じて本人に通知する。

10 給付金の返還

次の事項のいずれかに該当したときは、直ちに給付金を返還するものとする。

(1) 給付金を奨学目的以外に使用したとき。

(2) 虚偽の申請、その他不正な手段によって給付を受けたことが判明したとき。

(3) その他奨学生としてふさわしくない行為があったとき。

11 その他

在籍3年間のうち、1回のみ給付とする。

2月末には奨学生本人の成果報告書の提出を要する。

※

(給奨学様式1)

決定番号					
決定年月日	令和	年	月	日	

給付奨学生申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
 理事長 高野 富二男 様
 宮崎支部 支部長 齊藤 正利 様

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。
 また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し承しました。

生徒	フリガナ			性別	生 年 月 日	
	氏 名	Ⓜ		男・女	平成 年 月 日 (満 歳)	
	学校名	高等学校 高等専門学校 専修学校高等課程 その他	全日・定時・通信・ 専科・別科・他	学年	令和 年 入学 令和 年 卒業見込	
親権者	フリガナ				性別	
	氏 名	Ⓜ			男・女	
	現住所	〒			TEL ()	
給付申請金額	50,000円		その他		所得証明書(前年分の源泉徴収票「写」、確定申告「写」または納税証明書等)の提出をしていただく場合があります。	
申請理由						

- (注) 1. 生徒欄は奨学生本人が自署してください。
 2. 親権者欄は親権者本人が自署してください。申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。
 3. 申請理由欄には、家庭の経済的事情と給付金の使途を記入してください。
 4. 「個人情報の取扱いについて」
 ●当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
 ●当会の個人情報の取扱いについては、当会ホームページ(<https://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。

※印欄は記入しないでください。

(給奨学様式4)

高等学校等給付奨学生推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会

理事長 高野 富二男 様

宮崎支部 支部長 齊藤 正利 様

学校名 _____

校長名 _____ 印

下記の生徒を貴会の高等学校等給付奨学生として推薦します。

記

学 年	第 学 年	
氏 名		
住 所		
親権者氏名		
推薦理由 (経済的理由も必ず ご記入ください)		
担当者 所属・氏名 (推薦書等について、お答えいただける方)	所 属	担 当 者 氏 名
		電話番号：

【高等学校等給付奨学生推薦書を記入するに当たっての留意点】

(給奨学様式4)

高等学校等給付奨学生推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
 理事長 高野 富二 男 様
 宮崎支部 支部長 齊藤 正利 様

学校名 _____

校長名 _____ 印

下記の生徒を貴会の高等学校等給付奨学生として推薦いたします。

記

学 年	第 学 年	
氏 名		
住 所		
親権者氏名		
推薦理由 (経済的理由も必ず ご記入ください)	<p>「推薦理由」の記入に当たっては、以下の点にご留意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 申請者本人の申請理由と校長の推薦理由が整合するように書いてください。 2 対象生徒の学業に取り組む姿勢や態度、成績等、また、人となりや普段の生活態度等の状況がわかるように具体的に書いてください。 3 この事業の目的は、「学費支弁困難」の解消です。学費支弁上、どんな困難があるのか、給付される奨学金をどんな学費にあてさせようとしているのかを具体的に書いてください。 4 本事業を活用するほとんどの生徒については、高等学校等の就学支援金制度により、授業料の実質的な負担はないと思われま。したがって、「授業料の納入にあてる」との表記は避けてください。なお、記載する必要がある場合には、必ず説明を加えてください。 <p>※ 上記のことを踏まえ、対象生徒に対して、記載する内容を具体的に <u>にご指導していただいた上で、「給付奨学生申請書」をお渡しください。</u></p>	
担当者 所属・氏名 (推薦書等について、お答えいただける方)	所 属	担 当 者 氏 名
		電 話 番 号 :

(様式2-2)

日教弘宮崎支部 奨学事業・教育振興事業 金融機関口座振込依頼書

奨学金・助成金の名称 (教育研究団体 助成)

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会

宮崎支部 支部長 様

学校名・団体名・研修グループ名等 _____

代表者職・氏名 _____

(押印不要)

奨学金・教育振興助成金については、下記口座への振込みをお願いします。

記

フリガナ						
振込先	銀行・信金・労金					支店
	信組・農協					
	フリガナ					
	口座番号	普				フリガナ
						名義人

- ※ 振込口座の種別は、普通預金に限定します。
- ※ 口座番号は右寄せで7桁全てを記入します。口座番号が0の場合も忘れずに記入します。
- ※ ゆうちょ銀行口座への振込を受ける場合は、他の金融機関から振込可能な口座である店名(漢数字3桁、例：八四八支店)と口座番号(7桁)を記入します(ゆうちょ銀行ホームページで記号番号から振込用の店名・預金種別・口座番号を調べて記入します)。
- ※ 名義人が本人以外の金融機関口座には振込むことはできません。
- ※ 口座情報については、奨学金・教育振興助成金を振り込むためにのみ使用します。不採用の際は、廃棄いたします。
- ※ 振込後の送金通知書の発送はいたしません。
- ※ 指定口座の通帳の表面及び見開きの部分の写しも一緒に提出願います。